

令和3年度

一般廃棄物処理の現況

(令和5年3月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量	1
(2) 各ブロックの状況	3
(3) 災害廃棄物の状況	5
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 島根県全体の状況	7
(2) 各ブロックの状況	8
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 島根県全体の状況	11
(2) 各ブロックの状況	12
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 島根県全体の状況	25
(2) 各ブロックの状況	26
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置	29
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口	35
(2) し尿処理の状況	36
(3) し尿処理施設	37
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要	38
(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要	38
(2) 各ブロックのごみ処理事業経費の概要	38
7-2 廃棄物処理事業従事職員	42
7-3 委託・許可件数	42
7-4 一般廃棄物処理業者等関係	42
8. ダイオキシン類対策等の状況	43

II 資料編

1. ごみ処理の概況	
(1) ごみ処理フロー（令和3年度実績）	44
(2) ごみ処理の状況（市町村別）	45
(3) 令和3年度1人1日当たり総排出量別・リサイクル率別市町村一覧	47
(4) ごみの収集体制・分別状況（生活系）	47
(5) 保管施設整備状況	48
(6) 令和3年度資源回収状況	49
(7) ごみ処理施設整備状況	51
(8) 不燃物処理施設整備状況（粗大ごみ処理施設含む）	53
(9) 埋立処分地施設整備状況	55
(10) 焼却施設（溶融施設・ごみ燃料化施設含む）整備状況図 （令和4年3月31日現在稼働）	58
2. し尿処理の概況	
(1) し尿処理フロー（令和3年度実績）	59
(2) 衛生処理人口	60
(3) し尿処理の状況（市町村別）	62
(4) し尿処理施設整備状況	64
(5) コミュニティ・プラント施設整備状況	66
(6) し尿処理施設整備状況図（令和4年3月31日現在）	67
3. 廃棄物処理事業の概要	
(1) 廃棄物処理事業従事職員	68
(2) 委託・許可件数	69
(3) 一般廃棄物処理事業者等関係整備状況	70
(4) 廃棄物事業経費（市町村別）	71
(5) 廃棄物事業経費（事務組合別）	73
4. 浄化槽整備状況	
(1) 年度別浄化槽設置状況	75
(2) 市町村別・規模別浄化槽設置状況（令和3年度末）	76
(3) 浄化槽設置整備事業実績（個人設置型・令和3年度末）	77
(4) 市町村設置型浄化槽整備実績（令和3年度末）	78
(5) 浄化槽法定検査（法第11条）実施状況	79
5. 参 考 資 料	
島根県における一般廃棄物処理体制	80
廃棄物処理関係一部事務組合一覧表	81
島根県の廃棄物行政機関	83

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1～3 に示す。

令和 3 年度における県内のごみ総排出量は 228,780t (うち、生活系 157,128t、事業系 71,652t) であり、前年に比べ約 1.6%の減少となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは平成 29 年度から減少傾向が続いており、事業系ごみは、令和 2 年度から減少傾向になっている。集団回収量は平成 29 年度から減少しており、令和 2 年度に大きく減少しているのは、集計方法の変更により調査対象から外れたものがあることによる。

計画収集人口は 666,500 人 (外国人含む) で総人口の 99.98%である。1 人 1 日当たりごみ排出量は 940g、生活系ごみ 1 人 1 日当たりごみ排出量は 646g である。1 人 1 日当たりごみ排出量及び生活系ごみ 1 人 1 日当たりごみ排出量ともに前年度より減少している。

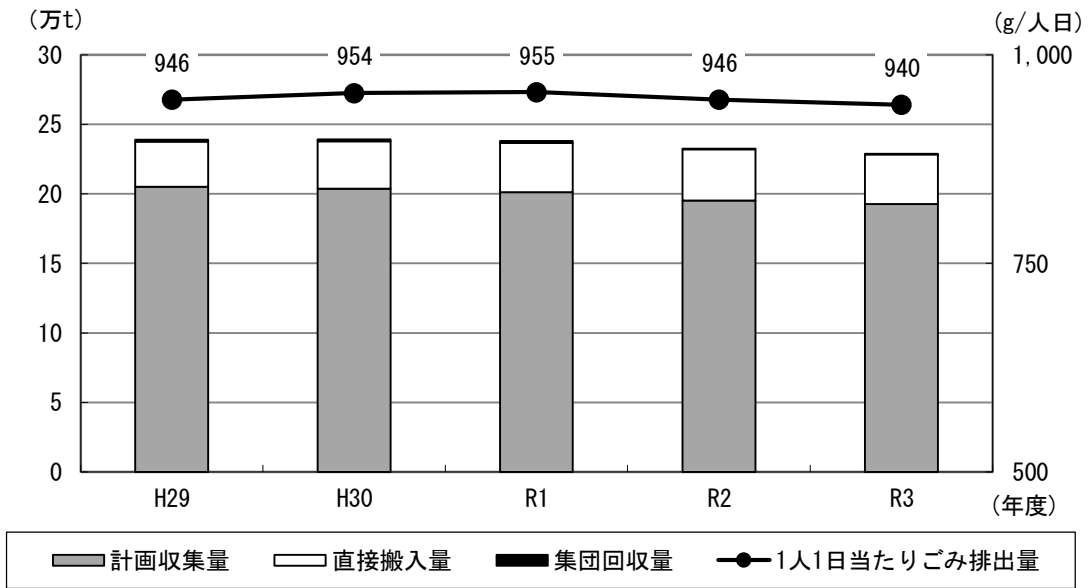
令和 3 年 7 月の豪雨と 8 月の台風の災害により災害廃棄物 1,663t が発生している。

表1-1 ごみ排出量と処理量の推移

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総人口(人) ^{※1}	人	691,933	686,362	680,905	673,778	666,659
計画収集人口	人	691,766	686,197	680,741	673,618	666,500
自家処理人口	人	167	165	164	160	159
計画収集率 (%)	%	99.98	99.98	99.98	99.98	99.98
ごみ排出量	t	205,049	203,684	201,307	195,124	192,608
直接搬入量	t	32,396	33,995	35,427	37,021	35,810
集団回収量	t	1,526	1,425	1,354	408	362
合計	t	238,971	239,104	238,088	232,553	228,780
生活系ごみ	t	164,053	163,549	161,558	159,664	157,128
事業系ごみ	t	74,918	75,555	76,530	72,889	71,652
ごみ総処理量	t	223,385	237,244	236,690	233,583	231,029
直接焼却	t	164,053	178,570	180,581	175,351	172,745
焼却以外	t	53,634	53,608	50,861	51,501	51,604
直接埋立	t	5,698	5,066	5,248	6,731	6,680
1人1日当たりごみ排出量	g	946	954	955	946	940
1人1日当たり生活系ごみ排出量	g	650	653	648	649	646
災害廃棄物処理量 ^{※2}	t	-	1,825	1,011	786	1,663

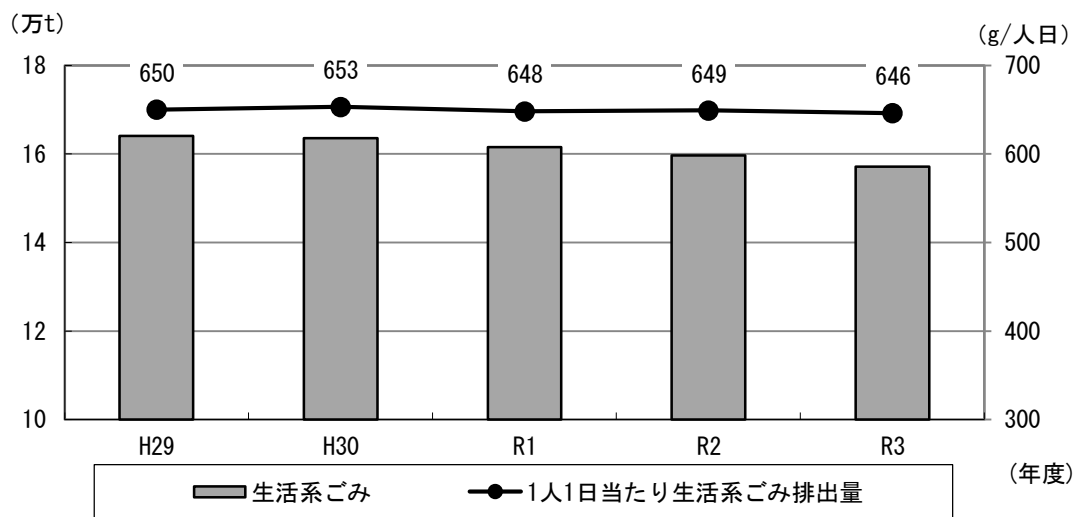
※1. 総人口には外国人を含んだ人口

2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = ごみ総排出量 / 総人口 / 365日 (366日) × 10⁶

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量 / 総人口 / 365日 (366日) × 10⁶

図1-2 生活系ごみの排出量の推移

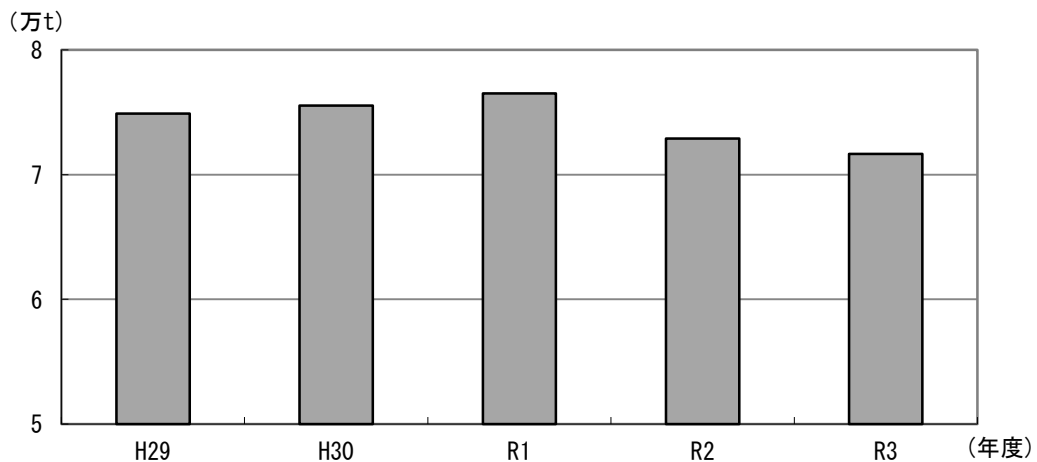


図1-3 事業系ごみの排出量の推移

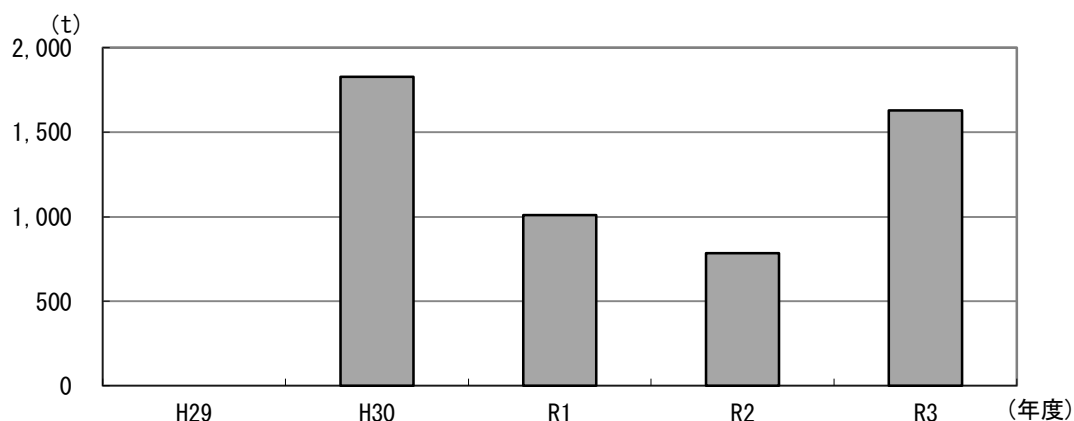


図1-4 災害廃棄物の処理量の推移

(2) 各ブロックの状況

<東部ブロック>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②安来市

可燃ごみ処理は、平成31年1月31日に焼却施設を廃止し、民間業者へ委託処理している。

③奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

⑤出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和3年度東部ブロックのごみ総排出量は157,161t(うち、生活系105,025t、事業系52,136t)、処理量合計は158,748tであり、1人1日当たりごみ排出量は927gと県平均の940gを下回っている。

<西部ブロック>

①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

令和3年度西部ブロックのごみ総排出量は61,082t（うち、生活系43,459t、事業系17,623t）、処理量合計は61,401tであり、1人1日当たりごみ排出量は916gと県平均の940gを下回っている。

<隠岐ブロック>

①隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和3年度隠岐ブロックのごみ総排出量は10,537t（うち、生活系8,644t、事業系1,893t）、処理量合計は10,880tであり、1人1日当たりごみ排出量は1,498gと県平均の940gを上回っている。

表1-2 各ブロックのごみ総排出量と処理内訳（令和3年度）

区 分	単位	東部ブロック	西部ブロック	隠岐ブロック
総人口(人)	t	464,621	182,767	19,271
計画収集人口	t	464,621	182,608	19,271
自家処理人口	t	0	159	0
ごみ	t			
計画収集量	t	138,522	50,739	3,347
直接搬入量	t	18,449	10,171	7,190
集団回収量	t	190	172	0
排出量	t			
合計	t	157,161	61,082	10,537
生活系ごみ	t	105,025	43,459	8,644
事業系ごみ	t	52,136	17,623	1,893
ごみ総処理量	t	158,748	61,401	10,880
直接焼却	t	117,085	47,863	7,797
焼却以外	t	36,501	12,801	2,302
直接埋立	t	5,162	737	781
1人1日当たりごみ排出量	g	927	916	1,498
災害廃棄物処理量	t	1,630	-	33

注) 総人口は外国人を含んだ人口

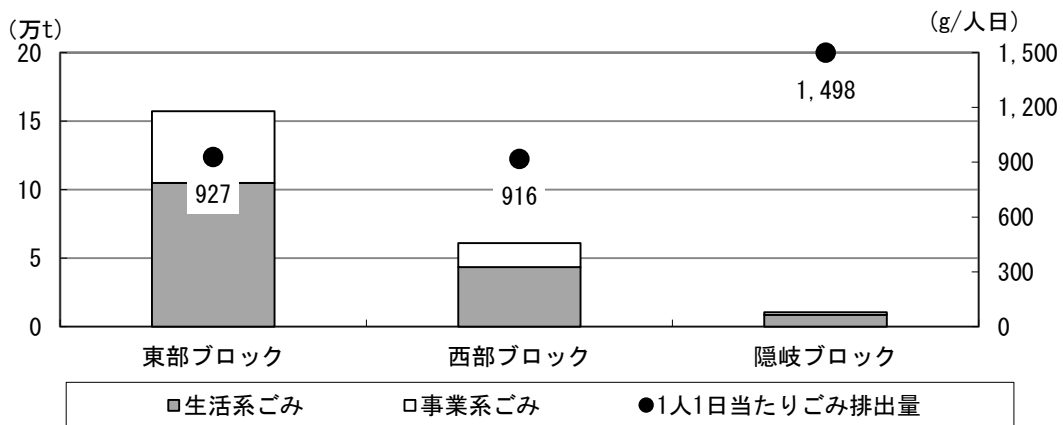


図1-5 ブロック別ごみ排出量（令和3年度）

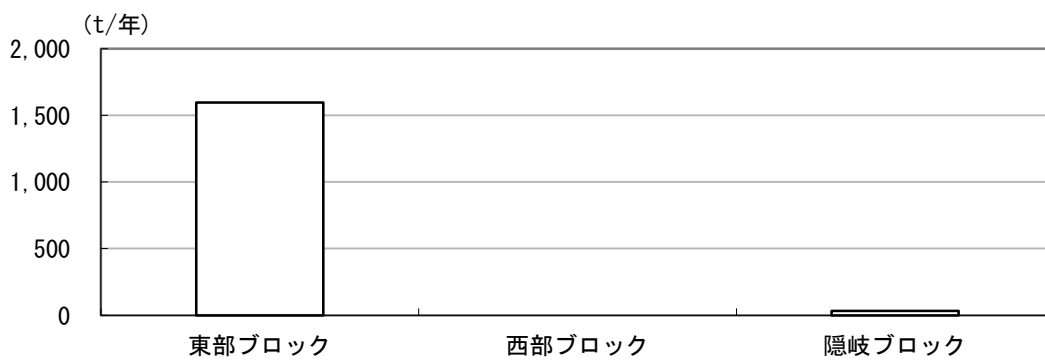


図1-6 ブロック別災害廃棄物（令和3年度）

（3）災害廃棄物の状況

令和3年度に島根県内で災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った災害廃棄物の処理量は1,663 tである。

災害廃棄物の内訳は土石類（38.7%）が最も多く、次いで木くず（25.6%）、その他がれき類（11.2%）である。災害廃棄物の搬入先の内訳は、直接埋立（45.8%）が最も多く、次いで焼却施設（39.6%）である。

表1-3 災害廃棄物の排出量と搬入先

	単位	直接資源化	直接埋立	焼却施設	資源化等施設	燃料化	その他の施設	合計
木くず	t	4	0	400	0	21	0	425
金属くず	t	19	0	0	0	0	0	19
その他がれき類	t	0	186	0	0	0	0	186
石綿含有廃棄物等	t	0	1	0	0	0	0	1
混合ごみ	t	1	0	134	0	0	0	135
可燃ごみ	t	0	0	51	0	32	0	83
不燃ごみ	t	0	41	0	0	0	0	41
粗大ごみ	t	0	0	34	0	1	0	35
家電4品目	t	17	0	0	1	0	0	18
畳	t	1	0	29	0	0	0	30
タイヤ	t	0	0	5	0	0	0	5
土石類	t	0	497	0	0	0	146	643
その他	t	0	35	6	0	0	0	41
石膏ボード	t	0	1	0	0	0	0	1
排出量	t	42	761	659	1	54	146	1,663

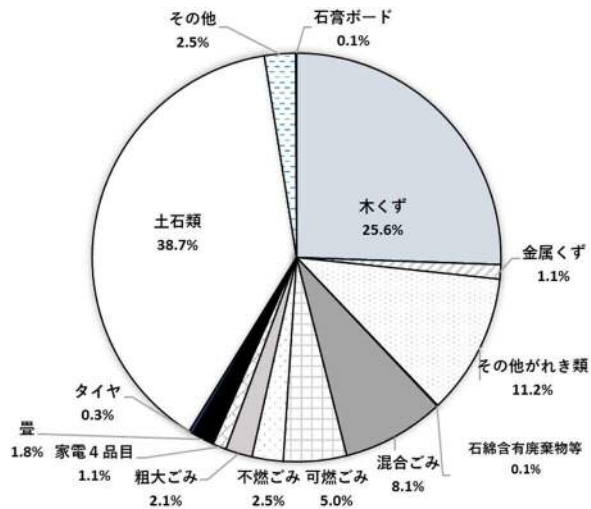


図 1-7 災害廃棄物の排出量

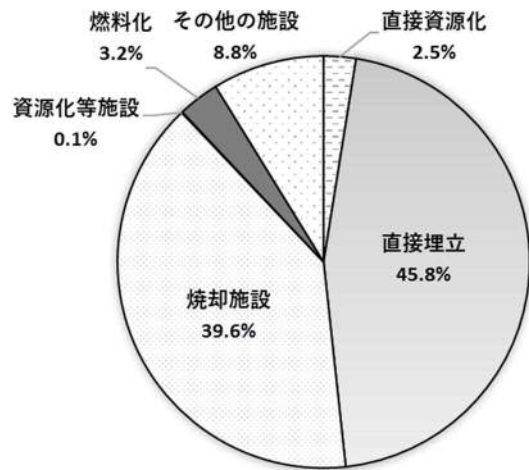


図 1-8 災害廃棄物の搬入先

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 島根県全体の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

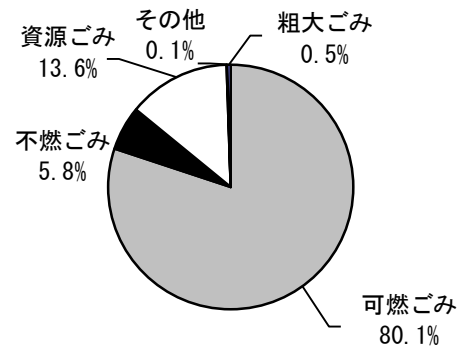
令和 3 年度に市町村から排出されたごみ量は 228,780t であり、収集内訳は、可燃ごみ 80.1%、不燃ごみ 5.8%、資源ごみ 13.6%、粗大ごみ 0.5%、その他 0.1%であった。

処理内訳では 172,745t(74.8%)が直接焼却され、51,604t(22.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 6,680t(2.9%)は直接埋立とされている。

島根県全体で 46,609t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 46,971t が資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳 (単位：t)

島根県全体		令和3年度	
計画収集量		192,608	
収集内訳	可燃ごみ	154,236	
	不燃ごみ	11,232	
	資源ごみ	26,115	
	その他	98	
	粗大ごみ	927	
直接搬入量		35,810	
集団回収量		362	
総排出量		228,780	
自家処理量		8	
処理内訳	中間	直接焼却	172,745
		焼却以外	51,604
	最終処分	直接埋立	6,680
		焼却残渣	9,894
		破碎圧縮残渣	3,934
資源化		46,609	
処理合計		231,029	
リサイクル率 (%)		20.3	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		940	



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-1 ごみの収集内訳

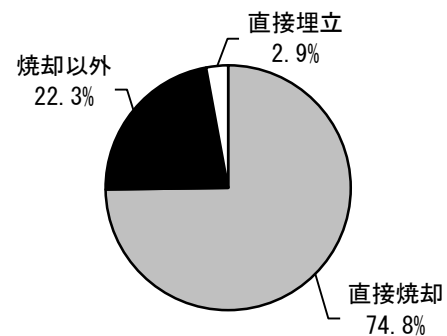


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

(2) 各ブロックの状況

＜東部ブロック＞

東部ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

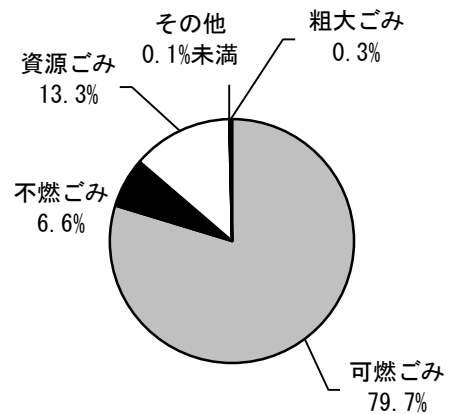
令和 3 年度に東部ブロックから排出されたごみ量は 157,161t であり、収集内訳は、可燃ごみ 79.7%、不燃ごみ 6.6%、資源ごみ 13.3%、粗大ごみ 0.3%であった。

処理内訳では 117,085t (73.8%) が直接焼却され、36,501t (23%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 5,162t (3.3%) は直接埋立とされている。

東部ブロックで 33,721t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 33,911t が資源化された。

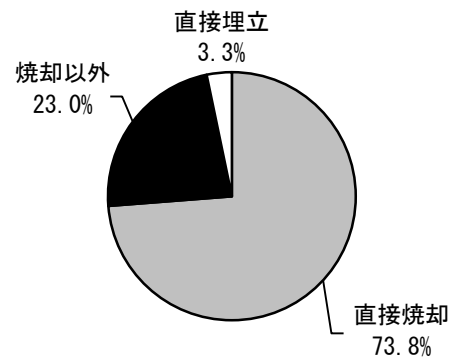
表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳 (単位 : t)

東部ブロック		令和3年度
計画収集量		138,522
収 集 内 訳	可燃ごみ	110,400
	不燃ごみ	9,169
	資源ごみ	18,468
	その他	26
	粗大ごみ	459
直接搬入量		18,449
集団回収量		190
総排出量		157,161
自家処理量		0
処 理 内 訳	中	
	直接焼却	117,085
	焼却以外	36,501
	最終	
	直接埋立	5,162
焼却残渣	6,375	
破碎圧縮残渣	1,967	
資源化	33,721	
処理合計		158,748
リサイクル率 (%)		21.3
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		927



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-3 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値
 リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) ×100
 処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

<西部ブロック>

西部ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

令和3年度に西部ブロックから排出されたごみ量は61,082tであり、収集内訳は、可燃ごみ80.9%、不燃ごみ3.9%、資源ごみ14.3%、粗大ごみ0.8%であった。

処理内訳では47,863t(78%)が直接焼却され、12,801t(20.8%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り737t(1.2%)は直接埋立とされている。

西部ブロックで12,137tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると12,309tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

西部ブロック		令和3年度	
計画収集量		50,739	
収集内訳	可燃ごみ	41,036	
	不燃ごみ	1,985	
	資源ごみ	7,255	
	その他	72	
	粗大ごみ	391	
直接搬入量		10,171	
集団回収量		172	
総排出量		61,082	
自家処理量		8	
処理内訳	中間	直接焼却	47,863
		焼却以外	12,801
	最終処分	直接埋立	737
		焼却残渣	2,454
		破碎圧縮残渣	1,597
	資源化		12,137
処理合計		61,401	
リサイクル率 (%)		20.0	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		916	

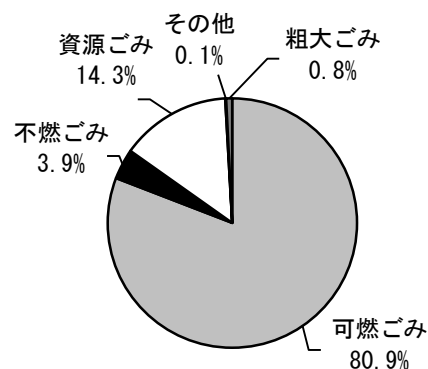


図2-5 ごみの収集内訳

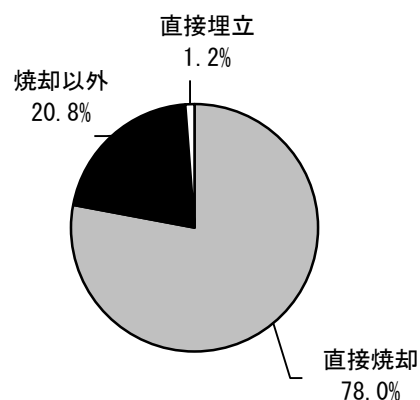


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<隠岐ブロック>

隠岐ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

令和3年度に隠岐ブロックから排出されたごみ量は10,537tであり、収集内訳は、可燃ごみ83.7%、不燃ごみ2.3%、資源ごみ11.7%、粗大ごみ2.3%であった。

処理内訳では7,797t(71.7%)が直接焼却され、2,302t(21.2%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り781t(7.2%)は直接埋立とされている。

隠岐ブロックで751tがごみから分別・資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

隠岐ブロック		令和3年度
計画収集量		3,347
収集内訳	可燃ごみ	2,800
	不燃ごみ	78
	資源ごみ	392
	その他	0
	粗大ごみ	77
直接搬入量		7,190
集団回収量		0
総排出量		10,537
自家処理量		0
処理内訳	中間	
	直接焼却	7,797
	焼却以外	2,302
	最終処分	
	直接埋立	781
	焼却残渣	1,065
	破碎圧縮残渣	370
	資源化	751
処理合計		10,880
リサイクル率 (%)		6.9
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		1,498

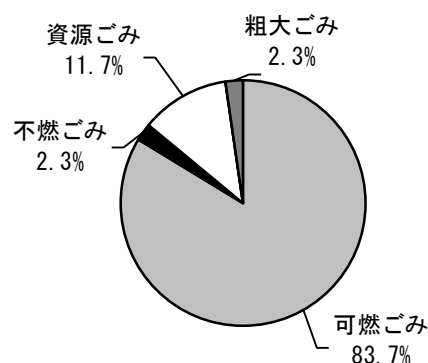
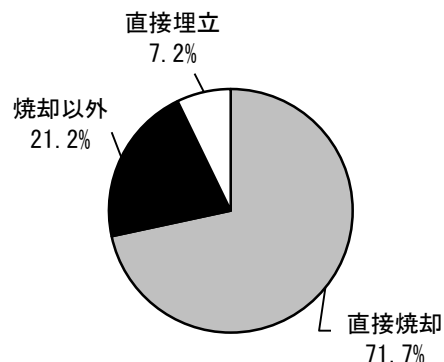


図2-7 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 島根県全体の状況

令和3年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-1、2に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は10施設(処理能力703.86t/日)、ごみ燃料化施設は、1施設(処理能力30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は2施設、資源化等の施設は16施設、粗大ごみ処理施設は12施設、保管施設は13施設である。

埋立中の最終処分場は23施設あり、全体埋立容量は1,902,321m³、残余容量は564,549.6m³となっている。

ごみ焼却施設の10施設のうち2施設は令和3年度末までの供用となり、令和4年度から新たに2施設が稼働する。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 ^{※1}	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	10	703.86 t/日	—
ごみ燃料化施設	1	30 t/日	—
中継施設	2	44 t/日	—
資源化等の施設	16	195.97 t/日	—
粗大ごみ処理施設	12	227.9 t/日	—
保管施設	13	15,654 t/年度 ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	23	1,902,321 m ³	564,549.6 m ³

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和3年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化溶融	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式	全連続	バッチ	全連続		
施設数	1	6	3	1	11
規模(t/日)	62	70.86	571	30	733.86

※ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化溶融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

表3-3 新焼却施設(令和4年度供用開始)

項目	全連続	准連続
施設数	1	1
規模(t/日)	200	40

(2) 各ブロックの状況

<東部ブロック>

①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-4、5に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は4施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は734,641m³、残余容量は110,104m³となっている。

表3-4 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	255 t/日	—
資源化等の施設	4	96 t/日	—
粗大ごみ処理施設	1	59 t/日	—
保管施設	3	9,206 t/年度 ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	734,641 m ³	110,104 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和3年度保管量である。

表3-5 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255 t/日	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況を表 3-6 に示す。

粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 74,147m³、残余容量は 43,136m³となっている。

表3-6 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量 (年度末)
粗大ごみ処理施設	2	26.9 t/日	-
最終処分場	2	74,147 m ³	43,136 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m³、残余容量は12,342m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	20 t/日	-
粗大ごみ処理施設	1	7 t/日	-
最終処分場	1	61,800 m ³	12,342 m ³

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20 t/日	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-9～11に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m³、残余容量は10,354m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ燃料化施設	1	30 t/日	-
中継施設	1	15 t/日	-
資源化等の施設	2	14.9 t/日	-
保管施設	2	947 t/年度 ^{※1}	-
最終処分場	3	41,300 m ³	10,354 m ³

※1. 保管施設の処理能力は、令和3年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30 t/日	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15 t/日	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-12、13に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力218t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等の施設は2施設、粗大ごみ処理施設は3施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は522,304m³、残余容量は207,424m³となっている。

ごみ焼却施設は令和3年度末までの供用となり、令和4年度から新たな焼却施設が稼働する。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	218 t/日	—
資源化等の施設	2	48 t/日	—
粗大ごみ処理施設	3	83 t/日	—
保管施設	3	1,632 t/年度 ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	522,304 m ³	207,424 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和3年度保管量である。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218 t/日	ガス化溶融(キルン式)	全連続

表3-14 新焼却施設(令和4年度供用開始)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	新出雲エネルギーセンター	200 t/日	焼却	全連続

＜西部ブロック＞

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-15、16 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 50,000m³、残余容量は 43,100m³となっている。

表3-15 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
中継施設	1	29 t/日	－
資源化等の施設	2	6.9 t/日	－
粗大ごみ処理施設	1	8 t/日	－
保管施設	2	880 t/年度 ^{※2}	－
最終処分場 ^{※1}	1	50,000 m ³	43,100 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和 3 年度保管量である。

表3-16 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	29 t/日	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-17、18に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は40,300m³、残余容量は27,752m³となっている。

ごみ焼却施設は令和3年度末までの供用となり、令和4年度から新たな焼却施設が稼働する。

表3-17 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	12 t/日	—
資源化等の施設	1	1.7 t/日	—
粗大ごみ処理施設	1	5 t/日	—
保管施設	1	1,929 t/年度 ^{※1}	—
最終処分場	1	40,300 m ³	27,752 m ³

※1. 保管施設の処理能力は、令和3年度保管量である。

表3-18 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター ごみ焼却施設	12 t/日	焼却	バッチ

表3-19 新焼却施設(令和4年度供用開始)

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター 可燃ごみ共同処理施設	40 t/日	焼却	准連続運転

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-20、21 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 124,900m³、残余容量は 65,254m³となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	98 t/日	—
資源化等の施設	1	2.67 t/日	—
粗大ごみ処理施設	2	34 t/日	—
最終処分場 ^{※1}	2	124,900 m ³	65,254 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーン センター	98 t/日	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 62 t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 2 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 149,729m³、残余容量は 15,164.6m³ となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	62 t/日	—
資源化等の施設	2	22.1 t/日	—
保管施設	1	1,009 t/年度 ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	2	149,729 m ³	15,164.6 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和 3 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62 t/日	焼却	全連続

<隠岐ブロック>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-24、25に示す。

海士町のごみ焼却施設は1施設(処理能力7t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は12,000m³、残余容量は3,620m³となっている。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	7 t/日	-
資源化等の施設	1	1 t/日	-
粗大ごみ処理施設	1	5 t/日	-
保管施設	1	51 t/年度 ^{※1}	-
最終処分場	1	12,000 m ³	3,620 m ³

※1. 保管施設の処理能力は、令和3年度保管量である。

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
海士町	海士町 清掃センター	7 t/日	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 5.3t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 11,200m³、残余容量は 9,991m³となっている。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	5.3 t/日	-
最終処分場	1	11,200 m ³	9,991 m ³

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町ごみ焼却場 「清美苑」	5.3 t/日	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は1施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	1.56 t/日	-

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56 t/日	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-30、31 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m³、残余容量は 16,308m³となっている。

表3-30 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	25 t/日	-
資源化等の施設	1	2.7 t/日	-
最終処分場	1	80,000 m ³	16,308 m ³

表3-31 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25 t/日	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 島根県全体の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

令和3年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は46,609tであった。その内、紙類が10,823t(23.2%)で最も多く、次に、熔融スラグ8,274t(17.8%)、金属類6,094t(13.1%)であった。

また、集団回収により資源化された量は362tであり、紙類が321t(88.7%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

(単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	10,823	47	353	6,094	2,744	1,044	2,755	851	685
集団回収	321	1	0	15	1	0	0	0	24

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	1,945	36	8,274	5,661	663	30	4,604	46,609
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	362

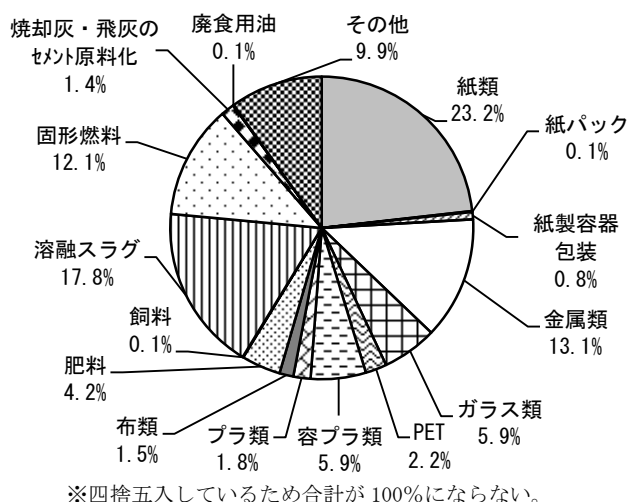


図4-1 市町村による資源化の内訳

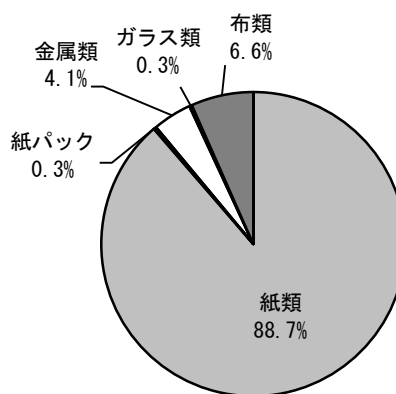


図4-2 集団回収の内訳

(2) 各ブロックの状況

<東部ブロック>

東部ブロックにおける資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3に示す。

令和3年度に東部ブロックの市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は33,721tであった。その内、紙類が6,800t(20.2%)で最も多く、次に溶融スラグ5,743t(17.0%)、固形燃料5,058t(15.0%)であった。

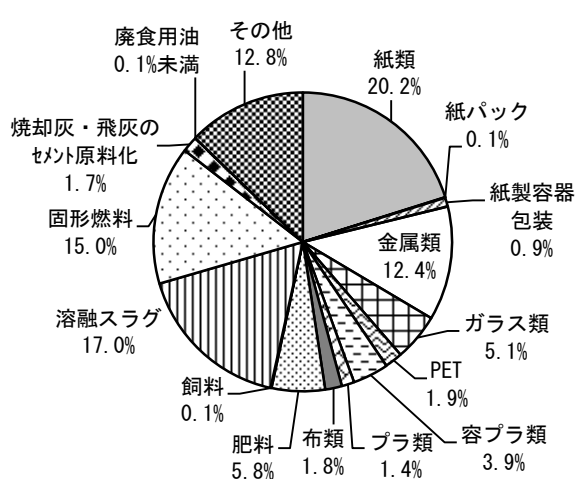
また、集団回収により資源化された量は190tであり、紙類が178t(93.7%)とほとんどを占めている。

表4-2 資源化の状況

(単位：t)

区分	紙類	紙パ ^ッ ク	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	6,800	25	319	4,165	1,716	643	1,311	457	613
集団回収	178	0	0	0	0	0	0	0	12

区分	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	1,945	36	5,743	5,058	568	16	4,306	33,721
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	190



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

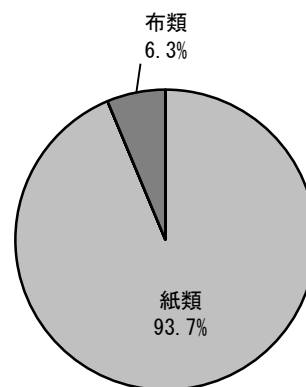


図4-4 集団回収の内訳

<西部ブロック>

西部ブロックにおける資源化の状況を表4-3、市町村による資源化の内訳を図4-5、集団回収の内訳を図4-6に示す。

令和3年度に西部ブロックの市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は12,137tであった。その内、紙類が3,705t(30.5%)で最も多く、次に熔融スラグ2,531t(20.9%)、金属類1,667t(13.7%)であった。

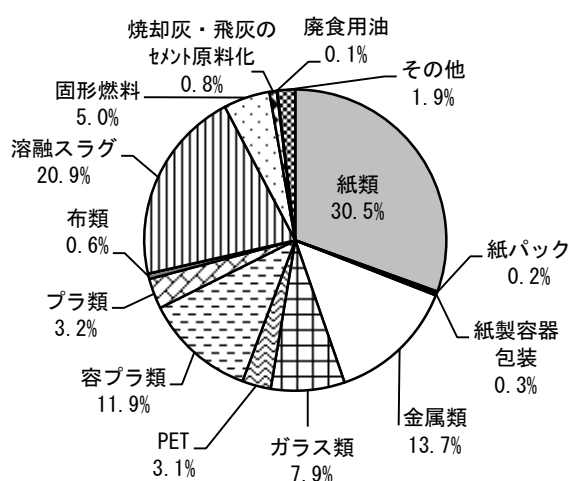
また、集団回収により資源化された量は172tであり、紙類が143t(83.1%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

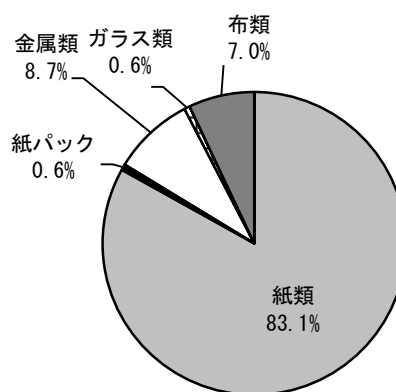
(単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	3,705	22	34	1,667	958	374	1,444	394	72
集団回収	143	1	0	15	1	0	0	0	12

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	2,531	603	95	10	228	12,137
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	172



※四捨五入しているため合計が100%にならない。



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳

図4-6 集団回収の内訳

<隠岐ブロック>

隠岐ブロックにおける資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-7に示す。

令和3年度に隠岐ブロックの市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は751tであった。その内、紙類が318t(42.3%)で最も多く、次に金属類が262t(34.9%)であった。

表4-4 資源化の状況 (単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	318	0	0	262	70	27	0	0	0

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	0	0	4	70	751

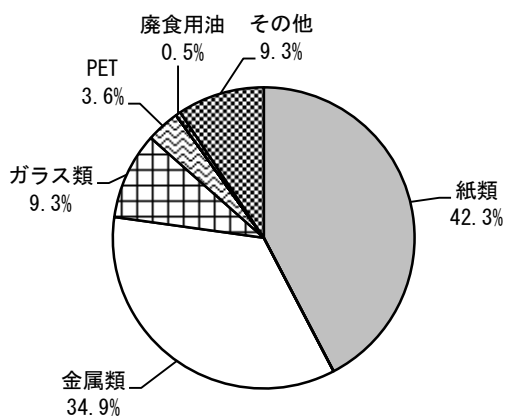


図4-7 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

令和4年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和4年12月1日現在）について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が10自治体と最も多く、次にパンフレットの作成が7自治体となっている。予算については、パンフレット作成、不法投棄防止関連事業、イベントの開催、資源ごみ回収団体への助成が多い。

表5-1 令和4年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和4年12月1日現在）

事業名	事業の概要	市町村	当初予算額
パンフレット作成	家庭ごみの分け方・出し方ガイドブック、カレンダー等の作成、食品ロス削減、啓発パンフレットの購入	松江市、出雲市、益田市、大田市、江津市、奥出雲町、美郷町	5,426千円
副読本作成	小学校社会科副読本	大田市	990千円
廃棄物減量化等協議会開催	定例審議会、臨時審議会 廃棄物減量等推進審議会	益田市、吉賀町、 隠岐の島町	1,300千円
イベントの開催	環境問題に関心を深め、持続可能な社会の構築を推進するため開催（イラスト展）	安来市	1,800千円
資源ごみ回収団体への助成	住民団体が行う資源回収への助成	松江市、益田市、大田市、津和野町	1,536千円
資源ごみ回収機器等の貸出	家庭用枝葉シュレッダーの貸出	出雲市	20千円
不法投棄防止関連事業	啓発看板、監視カメラ、不法投棄防止看板、パトロール、不法投棄物回収業務及び処分手数料等	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、奥出雲町、隠岐の島町	5,114千円
生ごみ堆肥化装置の設置補助	生ごみ堆肥化容器、電気式生ごみ処理器への補助	大田市、益田市、川本町、津和野町、西ノ島町	651千円
その他	出前講座（食品ロス）実施 リサイクル体験教室	松江市	214千円
合 計		-	17,051千円

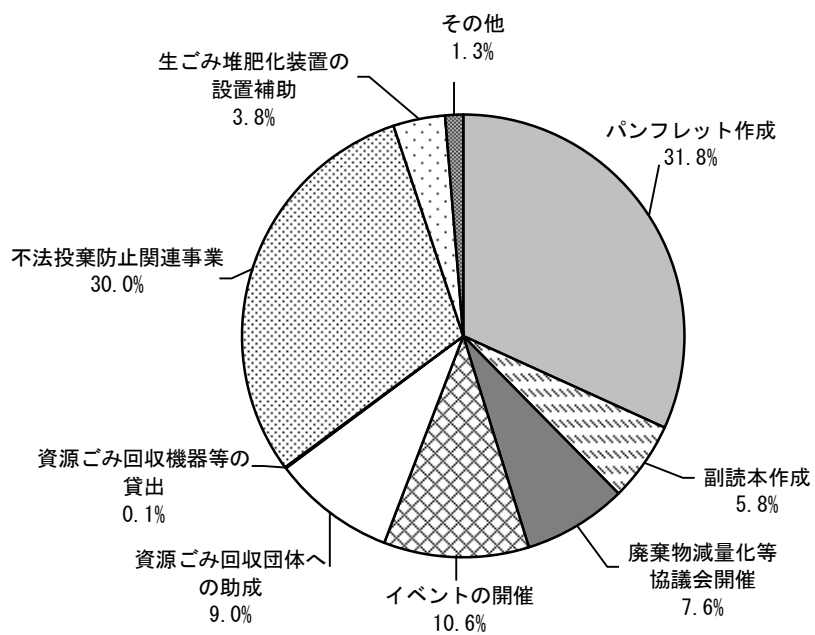


図5-1 令和4年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳
(令和4年12月1日現在)

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和4年12月1日現在

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり換算	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	13/27/40/61 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度 ^ホ リ ^ル
	資源	透明	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度 ^ホ リ ^ル
浜田市	可燃	半透明(緑色)	10/20/50L	22/33/44 円	高密度 ^ホ リ ^ル
		シール(粗大)		シール 254 円	
	不燃	半透明(青色)	5/10/20/50L	11/22/33/44 円	低密度 ^ホ リ ^ル
		シール(粗大)		シール 254 円	
	資源(びん)	半透明(橙色)	10/20L	11/16.3 円	低密度 ^ホ リ ^ル
資源(缶)	半透明(灰色)	20/50L	16.3/22 円		
資源(ハット・プラ)	半透明(水色)	20/50L	16.3/22 円		
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/20/40L	15/31/52 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	20/40L	31/52 円	低密度 ^ホ リ ^ル
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	20/40L	5/10 円	低密度 ^ホ リ ^ル
益田市	可燃	半透明(黄色)	800×650 mm	61 円	高密度 ^ホ リ ^ル
			700×550 mm	41 円	
			600×500 mm	31 円	
			袋に入らない物 シール 2 枚	61 円	
	不燃	半透明(緑色)	(大)850×650 mm	51 円	高密度 ^ホ リ ^ル
(小)700×550 mm			31 円		
資源 (容器包装 ^{プラ} のみ)	透明	袋に入らない物 シール 2 枚	61 円	高密度 ^ホ リ ^ル	
		860×650 mm	20 円		
690×540 mm	15 円				
大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45L	26/31/52 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	半透明(白)	20/30/45L	26/31/52 円	低密度 ^ホ リ ^ル
		シール(粗大)		524 円	
資源	無色透明	30/45L	16/22 円	低密度 ^ホ リ ^ル	
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	26/37/47 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度 ^ホ リ ^ル
	資源	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度 ^ホ リ ^ル
江津市	可燃・不燃	白 シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45 円 シール 100 円	高密度 ^ホ リ ^ル
雲南市	可燃	半透明(ル ^ン)	20/40L(手さげ型)	31/46 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度 ^ホ リ ^ル
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度 ^ホ リ ^ル
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45 L	26/47 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度 ^ホ リ ^ル
	資源	透明	30/45 L		低密度 ^ホ リ ^ル
飯南町	可燃	半透明(ル ^ン)	30/45 L	44/66 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度 ^ホ リ ^ル
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度 ^ホ リ ^ル
川本町	可燃	半透明(白色)	15/35 L	33/66 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度 ^ホ リ ^ル
	資源(ビン)	半透明(黒字)	25 L	16.5 円	ビ ン：低密度 ^ホ リ ^ル その他：高密度 ^ホ リ ^ル
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装 ^{プラ})	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
	資源(ハット ^{トル})	半透明(水色)	45 L		

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和4年12月1日現在

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質	
					1枚あたり		
美郷町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度 [※] リフレ	
		不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度 [※] リフレ	
	資源(ビン)	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビ ン：低密度 [※] リフレ その他：高密度 [※] リフレ	
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L			
		資源(容器包装 ^ポ ラ)	半透明(桃色)	45 L			
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L			
		資源(ハ ^ッ ト ^ホ トル)	半透明(水色)	45 L			
邑南町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度 [※] リフレ	
		不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度 [※] リフレ	
	資源(ビン)	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビ ン：低密度 [※] リフレ その他：高密度 [※] リフレ	
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L			
		資源(容器包装 ^ポ ラ)	半透明(桃色)	45 L			
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L			
		資源(ハ ^ッ ト ^ホ トル)	半透明(水色)	45 L			
津和野町	可燃	可燃	半透明(ル ^ッ グ)	15/45L	30/51 円	高密度 [※] リフレ	
		資源(容器 ^ポ ラ)	半透明	15/45L	30/51 円	高密度 [※] リフレ 低密度 [※] リフレ	
	(商品 ^ポ ラ)	透明	びん類	400×750 mm	びん類 51 円		
		(缶類)					
吉賀町	可燃	可燃	半透明	450×800 mm	51 円	高密度 [※] リフレ	
				360×800 mm	34 円		
				360×600 mm	25.5 円		
	資源(容器 ^ポ ラ)	半透明	資源(容器 ^ポ ラ)	450×980 mm	51 円	高密度 [※] リフレ	
				(商品 ^ポ ラ)			450×980 mm
				(カン類)			450×980 mm
(ビン類)	400×800 mm						
海士町	可燃	チケツト		70 円	紙		
	不燃	チケツト		70 円	紙		
	資源	チケツト		70 円	紙		
知夫村	可燃	可燃	半透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100 円	7 ^リ 0 ^サ 1 ^ト PE	
		不燃	チケツト券		200/1000 円券		
	資源(ビン)	資源(ビン)	半透明(黄色)	30 L	140 円	7 ^リ 0 ^サ 1 ^ト PE	
		資源(カン)	"	30/45 L	70/140 円		
		資源(ハ ^ッ ト)	"	30/45 L	70/140 円		
西ノ島町	可燃	半透明(黄色)	30/45L	55/82 円	低密度 [※] リフレ		
	不燃	半透明(青色)	30/45L	55/82 円	低密度 [※] リフレ		
		袋に入らない物	粗大ゴミシール	820 円			
隠岐の島町	可燃	可燃	チケツト (2色刷)	1 容器 1 枚 10kg 以内	100 円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)	
		不燃	チケツト (2色刷)	1 容器 1 枚 10kg 以内	100 円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)	
	資源	半透明			無料	高密度 [※] リフレ	
雲南市・飯南町 事務組合	可燃	可燃	半透明(ル ^ッ グ色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度 [※] リフレ	
		不燃	半透明(青色)	20/45 L	33/44 円	低密度 [※] リフレ	
	資源	半透明(緑色)	20/45 L	33/44 円	低密度 [※] リフレ		
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	半透明	45 L	51 円	高密度 [※] リフレ		

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

令和4年12月1日現在

市町村	区分	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
					1枚あたり	
松江市	可燃		半透明(白)	30/45 L	設定なし	炭酸ｶﾝの入りポリ ﾍﾞｯｸ
	不燃		透明(黄)	30/45 L	設定なし	低密度ﾍﾞｯｸ
浜田市	可燃		半透明(黄色)	50 L	88 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃		半透明(桃色)	50 L	88 円	低密度ﾍﾞｯｸ
	資源		半透明(茶色)	50 L	44 円	低密度ﾍﾞｯｸ
出雲市	可燃		白色(赤字)	40 L	125 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃		黄色(赤字)	40 L	125 円	低密度ﾍﾞｯｸ
	不燃 (破碎ごみ)		赤色(赤字)			
	不燃 (埋立ごみ)					
益田市	可燃		半透明(青色)	800×650 mm	102 円	高密度ﾍﾞｯｸ
大田市	可燃		半透明(緑)	45 L	105 円	高密度ﾍﾞｯｸ
安来市	可燃		半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37 円 +事業用収集券 104 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃・資源		透明 +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37 円 +事業用収集券 104 円	低密度ﾍﾞｯｸ
江津市	可燃		半透明(白)	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ﾍﾞｯｸ
雲南市	可燃		半透明(ﾍﾞｯｸ)	20/40L(手さげ型)	31/46 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃		半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾍﾞｯｸ
	資源		半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾍﾞｯｸ
奥出雲町	可燃		乳白色(青字)	30/45 L	26/47 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃		透明(赤字)	30/45 L		低密度ﾍﾞｯｸ
	資源		透明	30/45 L		低密度ﾍﾞｯｸ
飯南町	可燃		半透明(ﾍﾞｯｸ)	30/45 L	44/66 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃		半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾍﾞｯｸ
	資源		半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾍﾞｯｸ
津和野町	可燃		半透明(ﾍﾞｯｸ)	15/45L	30/51 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	資源(容器ﾌﾟﾗｽチック)		透明(桃文字)	15/45L	30/51 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	(商品ﾌﾟﾗｽチック)		透明(黄文字)			
	(缶類)		透明(黒文字)	びん類 400×750 mm	びん類 51 円	低密度ﾍﾞｯｸ
	(びん類)		透明(青文字)			
吉賀町	可燃		半透明	450×800 mm 360×800 mm 360×600 mm	51 円 34 円 25.5 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	資源(容器ﾌﾟﾗｽチック)		半透明	450×980 mm 450×980 mm 450×980 mm 400×800 mm	51 円	高密度ﾍﾞｯｸ
海士町	可燃		ﾁｹｯﾄ		70 円	紙
	不燃		ﾁｹｯﾄ		70 円	紙
	資源		ﾁｹｯﾄ		70 円	紙
雲南市・飯南町 事務組合	可燃		半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ﾍﾞｯｸ
	不燃		半透明(青色)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾍﾞｯｸ
	資源		半透明(緑色)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾍﾞｯｸ

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ堆肥化装置の設置補助(令和4年度)

市町村名	補助基準	備 考
益田市	補助率 1/2、限度額 5 千円 補助率 1/2、限度額 15 千円	コンポスト 電気式
大田市	補助率 1/2、限度額 3 千円	1 世帯当たり 2 基
川本町	補助率 1/2、限度額 3 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	
津和野町	補助率 1/2、限度額 3.5 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	生ごみ処理容器(1 世帯当たり 2 基) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基)
西ノ島町	補助率 1/2、限度額 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、限度額 10 千円(町外購入)	

6. し尿処理の概要

(1) 衛生処理人口

島根県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

令和 3 年度における県内の水洗化人口は、564,410 人(84.7%)、非水洗化人口は、102,249 人(15.3%)である。水洗化人口は前年の 0.6%減で、平成 29 年度と比べると 0.3%減少している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	単位	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
総人口	人	691,933	686,362	680,905	673,778	666,659
水洗化人口	人	566,225	568,927	569,500	567,564	564,410
下水道人口	人	296,085	298,514	298,322	301,950	303,223
コミュニティ・プラント人口	人	4,154	4,121	4,077	4,038	3,990
集落排水処理施設人口	人	96,315	88,629	87,378	86,576	84,715
浄化槽人口	人	169,671	177,663	179,723	175,000	172,482
非水洗化人口	人	125,708	117,435	111,405	106,214	102,249
計画収集人口	人	123,584	115,366	109,373	104,282	100,476
自家処理人口	人	2,124	2,069	2,032	1,932	1,773
総処理量	kL/年	263,341	262,621	260,290	259,618	255,576
し尿計画処理量	kL/年	85,035	82,432	78,614	77,032	74,125
自家処理量	kL/年	1,257	1,102	1,072	994	1,049
浄化槽汚泥計画処理量	kL/年	177,049	179,087	180,604	181,592	180,402

注) 総人口に外国人含む。

平成 29～令和 2 年度の集落排水処理施設人口及び浄化槽人口は県独自調査による。

浄化槽人口＝補助による合併処理浄化槽人口+その他の浄化槽人口+単独処理浄化槽人口

(千人)

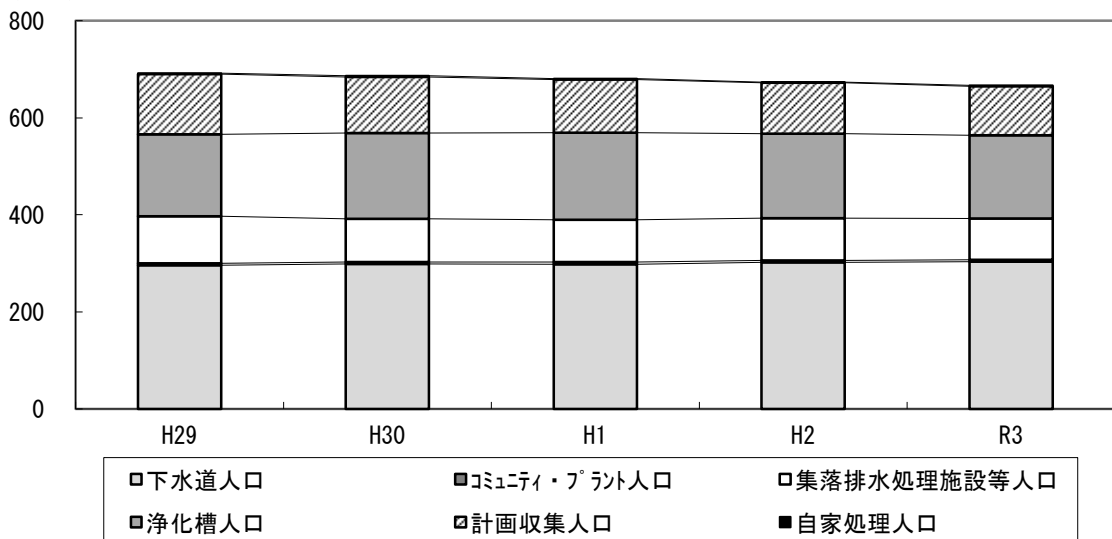


図6-1 衛生処理人口の推移

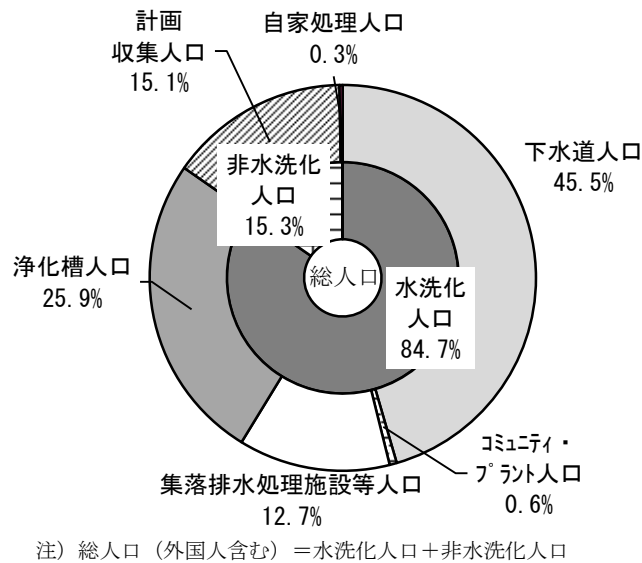


図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表 6-2、総処理量の内訳を図 6-3 に示す。

令和 3 年度における県内の総処理量は、255,576kL で、前年より 1.6%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が 70.6%、し尿計画処理量が 29%、自家処理量 0.4%となっている。

1 人 1 日当たりし尿計画処理量は 2.02L/人日、1 人 1 日当たり浄化槽汚泥処理量は 1.89L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		令和3年度
総処理量 (kL/年)		255,576
内訳	し尿計画処理量	74,125
	自家処理量	1,049
	浄化槽汚泥計画処理量	180,402
し尿計画処理量 (kL/年)		74,125
内訳	下水道投入	9,785
	し尿処理施設	64,329
	農村還元	11
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		180,402
内訳	下水道投入	30,111
	し尿処理施設	150,154
	農村還元	137
1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日)		2.02
1人1日当たりし尿排出量 (L/人日)		2.01
1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日)		1.89

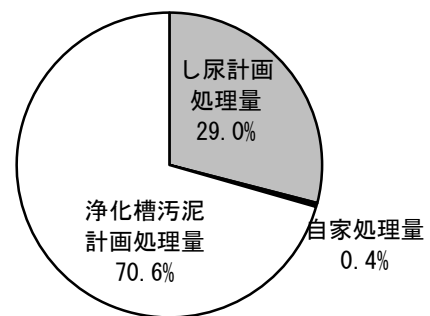


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量
 1 人 1 日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365 日 × 10³
 1 人 1 日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365 日 × 10³
 1 人 1 日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365 日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、個人設置型浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

令和 3 年度の県内のし尿処理施設数は 10 施設（処理能力 719.4kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,368m³/日）である。

浄化槽設置基数は合計 71,614 基で、去年より 961 基減少している。

令和 3 年度の県内の浄化槽設置基数(個人設置型)は 532 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設					コミュニティ・プラント
	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	その他	合計	
施設数	1	4	4	1	10	9
規模(kL/日)	27	224	397	71.4	719.4	2,368(m ³ /日)

注1) 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段）
膜分離…膜分離処理方式

高負荷…高負荷脱窒素処理方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m³/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設置基数	70,727	696	99	92	71,614

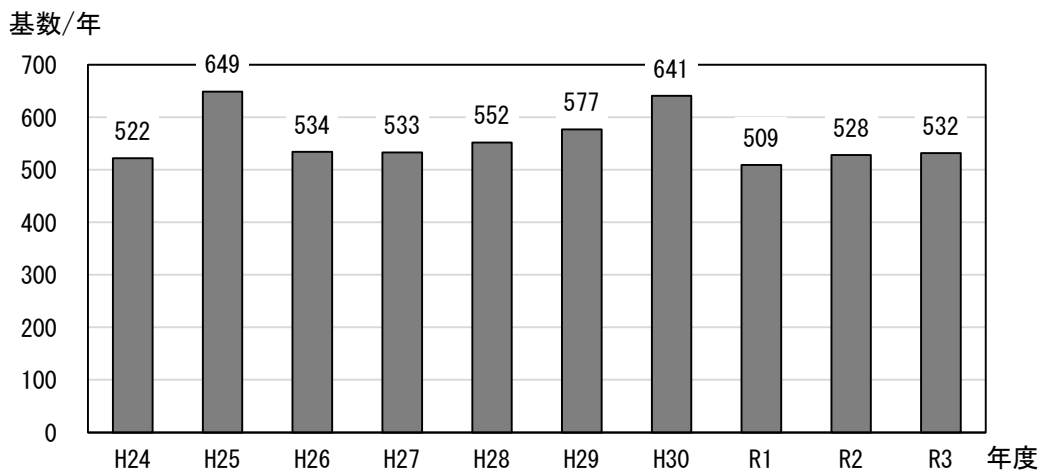


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要

島根県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

令和 3 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 33,426,856 千円であり、前年より 45.1%増加している。経費の内訳はごみ処理が 31,300,024 千円、し尿処理が 2,126,832 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

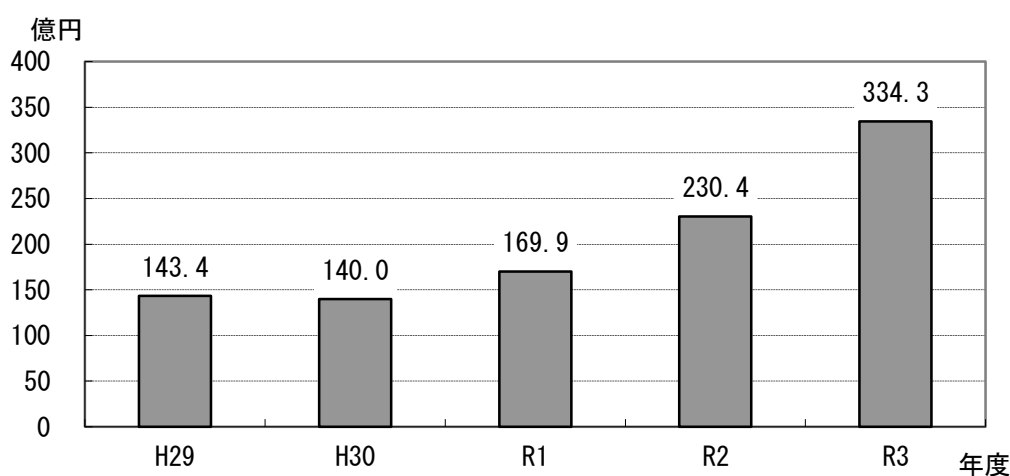


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(島根県全体)

(2) ブロック別のごみ処理事業経費の概要

ブロック別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、ブロック別の内訳を図 7-5 に示す。

ブロック別におけるごみ処理経費は、東部ブロック 19,549,358 千円 (62.5%) と最も多く、次いで西部ブロックが 9,727,116 千円 (31.1%)、隠岐ブロック 2,023,550 千円 (6.5%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(島根県全体)

(令和3年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	5,126,909	4,351	11,507,350	2,373,655	2,479,412	1,134,180	11,153,579	31,300,024
し尿	40,643	91,934	388,400	280,363	346,087	11,171	1,314,321	2,126,832
計	5,167,552	96,285	11,895,750	2,654,018	2,825,499	1,145,351	12,467,900	33,426,856

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(島根県全体)

(令和3年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				(組合) 分担金	調査 研究費			小計
	収集運搬 施設	中間処理 施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	15,400	15,998,200	795,870	59,844	39,236	286,567	16,908,550	1,124,414	98,836	1,138,425	139,522	96,225	2,228,821	4,025,127	318,039	515,151	2,192,845	17,723	9,702,283	4,689,191	31,300,024
し尿	345,870	167,093	0	0	0	0	512,963	247,741	44,796	245,982	0	0	70,445	936,545	23,746	16,260	346,087	2,923	1,588,438	25,431	2,126,832
計	361,270	16,165,293	795,870	59,844	39,236	286,567	17,421,513	1,372,155	143,632	1,384,407	139,522	96,225	2,299,266	4,961,672	341,785	531,411	2,538,932	20,646	11,290,721	4,714,622	33,426,856

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

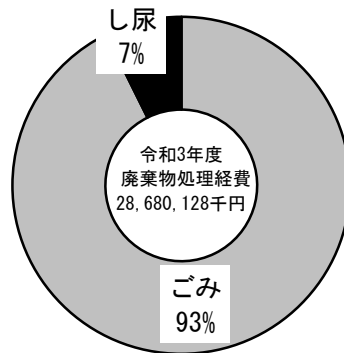


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(島根県全体)

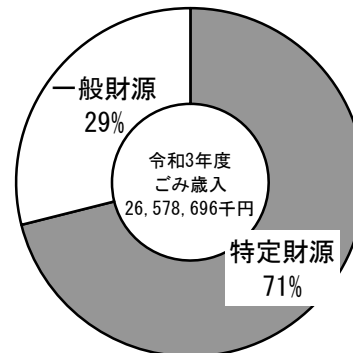


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(島根県全体)

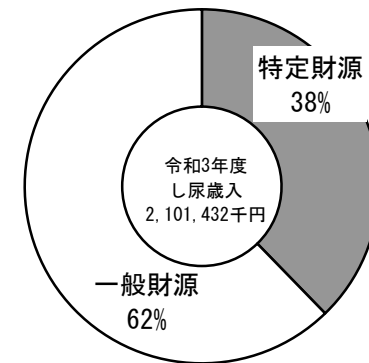


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(島根県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村)

(令和3年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	4,222,143	4,351	11,507,350	2,125,166	1,027,781	7,691,905	26,578,696
し尿	40,643	91,934	388,400	261,182	11,143	1,308,130	2,101,432
計	4,262,786	96,285	11,895,750	2,386,348	1,038,924	9,000,035	28,680,128

表 7-4 歳出の内訳(市町村)

(令和3年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				組合 分担金	調査研 究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	15,400	14,291,005	58,023	0	32,988	286,567	14,683,983	895,360	98,277	895,365	128,238	58,837	2,013,175	2,770,654	245,753	241,065	2,192,845	1,430	9,540,999	2,353,714	26,578,696
し尿	345,870	167,093	0	0	0	0	512,963	206,031	44,796	195,880	0	0	60,374	697,742	17,541	16,260	346,087	0	1,584,711	3,758	2,101,432
計	361,270	14,458,098	58,023	0	32,988	286,567	15,196,946	1,101,391	143,073	1,091,245	128,238	58,837	2,073,549	3,468,396	263,294	257,325	2,538,932	1,430	11,125,710	2,357,472	28,680,128

表 7-5 歳入の内訳(事務組合)

(令和3年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	904,766	0	0	248,489	2,479,412	106,399	3,461,674	7,200,740
し尿	0	0	0	19,181	346,087	28	6,191	371,487
計	904,766	0	0	267,670	2,825,499	106,427	3,467,865	7,572,227

表 7-6 歳出の内訳(事務組合)

(令和3年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	1,707,195	737,847	59,844	6,248	2,511,134	229,054	559	243,060	11,284	37,388	215,646	1,254,473	72,286	274,086	16,293	2,354,129	2,335,477	7,200,740
し尿	0	0	0	0	0	0	41,710	0	50,102	0	0	10,071	238,803	6,205	0	2,923	349,814	21,673	371,487
計	0	1,707,195	737,847	59,844	6,248	2,511,134	270,764	559	293,162	11,284	37,388	225,717	1,493,276	78,491	274,086	19,216	2,703,943	2,357,150	7,572,227

表 7-7 ブロック別ごみ処理経費の歳入の内訳

(令和3年度, 単位: 千円)

ブロック	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
東部ブロック	3,661,716	819	8,460,100	1,856,349	906,759	836,682	4,733,692	19,549,358
西部ブロック	956,829	3,532	1,996,800	425,199	1,572,653	275,057	6,069,699	9,727,116
隠岐ブロック	508,364	0	1,050,450	92,107	0	22,441	350,188	2,023,550
合計	5,126,909	4,351	11,507,350	2,373,655	2,479,412	1,134,180	11,153,579	31,300,024

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 ブロック別ごみ処理経費の歳出の内訳

(令和3年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費													その他	合計
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				(組合) 分担金	調査 研究費	小計			
	収集運搬 施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他						
東部ブロック	15,400	12,749,257	49,105	0	39,236	174,130	12,852,998	701,580	15,094	891,828	119,884	37,388	1,608,491	2,431,388	118,708	201,403	732,629	1,430	6,127,194	569,166	19,549,358	
西部ブロック	0	1,708,384	732,822	59,844	0	112,437	2,501,050	372,827	61,852	159,971	11,821	52,237	580,654	1,373,320	190,240	286,826	1,460,216	16,293	3,106,041	4,120,025	9,727,116	
隠岐ブロック	0	1,540,559	13,943	0	0	0	1,554,502	50,007	21,890	86,626	7,817	6,600	39,676	220,419	9,091	26,922	0	0	469,048	0	2,023,550	
合計	15,400	15,998,200	795,870	59,844	39,236	286,567	16,908,550	1,124,414	98,836	1,138,425	139,522	96,225	2,228,821	4,025,127	318,039	515,151	2,192,845	17,723	9,702,283	4,689,191	31,300,024	

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

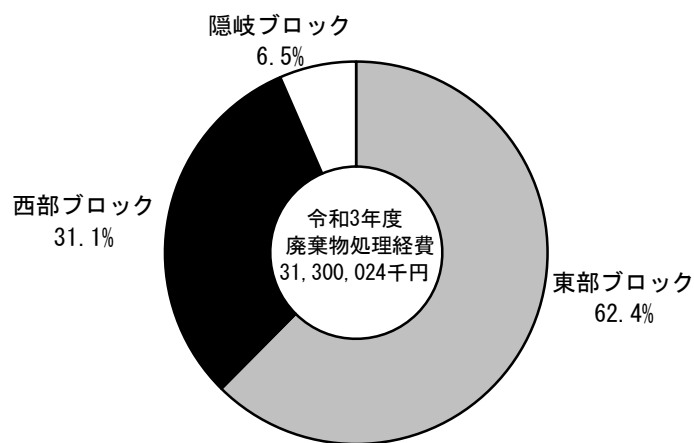


図 7-5 ブロック別の内訳

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。

令和 3 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 247 人である。

内訳は、ごみ処理が 209 人、し尿処理が 38 人である。

表 7-9 従事職員の状況

区 分	単 位	ご み		し 尿		合 計		総 計	
		市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一 般 職	事 務 系	人	100	16	13	3	113	19	132
	技 術 系	人	29	5	8	4	37	9	46
技 能 職	収 集 ・ 運 搬	人	28	0	0	0	28	0	28
	中 間 処 理	人	14	14	4	0	18	14	32
	最 終 処 分	人	1	2	0	0	1	2	3
	そ の 他	人	0	0	6	0	6	0	6
合 計	人	172	37	31	7	203	44	247	

7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。

令和 3 年度末における委託・許可件数は市町村では 388 件、事務組合では 111 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況

区 分		単 位	市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	件	123	33
	許可業(法第7条)	件	198	67
し尿	委託業(法第6条)	件	8	5
	許可業(法第7条)	件	59	6
合 計		件	388	111

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

令和 3 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	単 位	ご み	し 尿	合 計
業者数	件	138	45	177

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	単 位	収 集 運 搬	中 間 処 理	最 終 処 分	合 計
従業員数	人	1,728	370	9	2,104

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値(ng-TEQ/Nm ³)				
		R3 年度 調査結果	R2 年度 調査結果	R 元年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	0.00000069 0.00055 0.63	0.00079 0.0031 0.00011	0.001 0.000052 0.000037	1	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	3.5 0.23	1.9 3.9	2.1 4.1	5	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.000072 0.0000012	0.0012 0.0010	0.010 0.00019	0.1	
出雲市 新出雲エネルギーセンター	BF	0.000038 0.000001	-	-	-	試運転中の 性能試験で の測定結果
邑智郡総合事務組合 邑智クリーンセンター	BF	0.11 0.11	0.24	0.56	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.0019 0.0057	0.00045 0.00004	0.000057 0.00053	1	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0.0000003 0	0.0000007 0.000077	0 0.00010	5	
隠岐の島町 島後清掃センター	BF	3.3 3.3	2.6 2.6	4.9 4.9	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	0.0088	0.071	0.036	5	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	0.25	0.11	0.047	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター(RDF)	MC BF	0.043	0.051	0.048	-	ごみ燃料化 施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	0.73	0.93	0.24	5	

注)集塵方式において、MC=マルチクロン、BF=バグフィルター、*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」

資料：松江市「大気基準適用施設の設置者による測定結果」